

いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

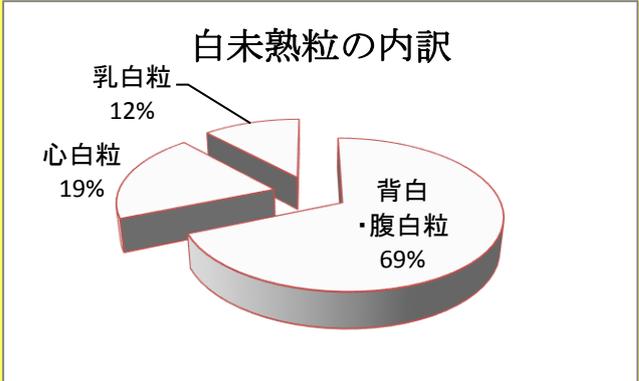
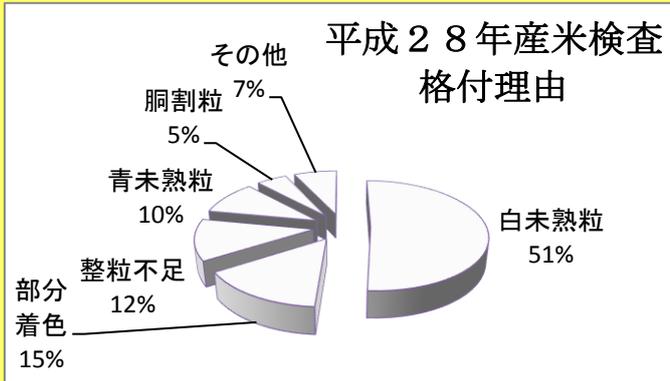


米の品質向上に向け、適期収穫を心がけよう！

早期落水！ダメ！ **早刈り！ダメ！** **刈遅れ！ダメ！**

いよいよ収穫直前！収穫するまで栽培管理を！！

昨年の米検査結果から2等3等の格付理由を見ると、一番多かったのが白未熟粒でした。
次に左下のグラフに表れているように部分着色粒や整粒不足・青未熟粒・胴割粒が続いています。
白未熟粒や胴割粒・青未熟粒・整粒不足など、気象的要因で発生しやすくなりますが、早期落水
や早刈り、刈遅れなど栽培的要因で米の品質低下を招くことにも繋がります。収穫するまでの水管理
や適期収穫をすることによって少しでも米の品質を良くできるように取り組みましょう。



早期落水はダメ！しない！ 収穫7日前までは土壌水分を維持しましょう。

白未熟粒の中には、乳白粒・心白粒・腹白・背白・基部未熟粒があります。白未熟粒が増える要因には、出穂期の高温障害や日照不足といった気象的要因があり、稲生育後半の窒素不足に加え、早期落水で増える栽培的要因があります。
落水が早すぎると登熟期後半に脱水症状となり玄米が細くなったり白未熟粒や胴割粒を発生させることになり米の品質低下を招きます。

収穫目安は、一穂に緑色籾数 3粒～4粒 早刈りは未熟粒が増える！刈遅れは茶米や胴割れが増える！！

青未熟粒が理由で2等3等になることもあり、青未熟粒を軽減するには、収穫適期を見極めることが必要になります。
最終的に収穫適期を見極めるには、一穂の基部に緑色籾数が3粒～4粒程度残る頃が収穫適期です。畦畔際の稲は、生育が少し早いため、少し圃場の中へ入って判断をして下さい。